ワークショップ開催報告

島のママさんお茶会

2024.12.15 (日) 14:00~15:30 / 比嘉公民館
参加者　８名

若い女性（ママさん達）が、今後も安心して島に住み続けてもらうにはどんなことが必要なのかを伺いました。

既存のものとコラボ型(ついでにやる)で、負担なく新しいことにチャレンジしたい

人材交流を充実して、島で１つに！

親も先生たちも心にゆとりが持てるような仕組みが大事

【医療・福祉】
- 耳鼻科などの専門医が島内にいなく、緊急時に受診できない。
- 産院が無くても安心できるよう、産前産後のサポートを充実して欲しい。
- 受診にかかる島外渡航費の補助があるとありがたい。

【地域コミュニティ・人間関係】
- 世代間のつながりをつくりたい。
- 外からよいところは取り入れつつも、地域での交流、島の伝統は残していきたい！
- 意見を言いやすい関係性が築けると、色んなことが試しやすい。

【保育、教育環境】
- 土曜保育、病児保育が使いやすくなって欲しい。保育園だけに頼らない仕組みがつくれるとよい。
- 学校間で学習環境やツールに差がある。島だからこそ一体となった保育、教育環境を実現したい。
- 先生と保護者合同での研修会や、意見交換(雑談でも)の場が欲しい。
- 習い事の選択肢が限られている。自然豊かで外あそびは充実しているが、雨の日の過ごし方に困る。
- 高校までは島で育てたいが、久米島高校がこの先も存続できるか不安。

産業交流型意見交換会

2024.12.16 (月) 14:00~16:00 / 仲里庁舎会議室
参加者　18名
【久米島商工会、久米島紬事業協同組合、久米島製糖(株)、久米島町観光協会、(一社)くめじまDMO、役場職員】

島の主産業従事者（若手層を主）を対象に、これからの島の“しごと”や“働き方”について意見交換を行いました。

課題解決のアイデア、望ましい姿

ワーク①各産業ごとの「現状・課題」、「望ましい姿」について意見だし

ワーク②参加者をシャッフル！「課題解決の視点」、「産業全体のあるべき姿」について多角的な視点による意見交換

【商工業・紬産業】
- 人材が流出しない、仕事を続けたくなる職場環境の整備
- 子どもや孫が活躍したいと思える島の活性化
- 悩みや目標等を共有して、進むべきベクトルを合わせる
- 全町で住宅問題に取り組む必要がある

【観光業】
- 観光から移住までの連携を実現
- 各産業の求人や就業者を見える化し、マッチングに繋げる
- スポーツ交流等、島外との交流を増やして認知度を向上
- 商工会の定例会に他産業も参加するなど、各産業の青年部同士のつながりを強化したい

【農業】
- 産業間での出向・副業の促進
- 農家OB等が指導者となり、農家以外の住民向けの共同農地を運営（生産者育成にもつなげる）
- ハウス栽培や養殖等、安定生産に繋がる海洋深層水事業に期待！

いただいたご意見は、総合計画の施策検討に反映していきます！